

永平寺 親禅の宿 柏樹關：宿泊・体験プログラム

僧侶たちは永平寺で厳しい規則に従って生活しており、境内の施設に宿泊するゲストは、僧侶たちと同じ規則を守らなければならない。一方、お寺の外にある柏樹關の宿泊者は、この地方の有名な多くの観光スポット、味覚、工芸品を楽しみながら、本格的な禅の体験も満喫できる。柏樹關のスタッフは、宿泊客が永平寺の朝のお勤めや坐禅の修行などの活動に参加する手配もしてくれる。

禅の修行に関する特定の手順は、初めて体験する希望者にとっては不安なものである。初心者
が禅をより受け入れやすくするために、柏樹關には永平寺の僧侶から訓練を受けた「禅コンシェルジュ」
がいる。禅コンシェルジュは宿泊客が禅に関する活動をお寺と連絡を取り合いながら、ホテル内で実
施する案内をする。禅コンシェルジュになるには、禅仏教の歴史と哲学についての筆記試験に合格し
なければならない。そして寺院での 3 日間の集中坐禅プログラムに参加しなければならない。まず、こ
のトレーニングを完了したスタッフは、初めて、お客様を各種の禅体験に案内することができる。（現
在は日本語のみ）

坐禅に興味のあるお客様は、予約状況に応じて、永平寺あるいは柏樹關のどちらかで毎日開催さ
れる坐禅に参加できる。ここでの坐禅は、一般的な僧侶の修行の短縮形であり、禅コンシェルジュ
は、ゲストが瞑想中にしなければならない適切なマナー、手の位置、姿勢を説明する。同様に、柏
樹關で写経体験にも参加できる。毛筆で経典を写す行為は写経と呼ばれ、長い歴史を持ち、精
神修養の一種と考えられている。

禅コンシェルジュは、永平寺の朝のお勤めへの参加の手配もお手伝いする。宿泊客は夜明け前に
起床し、お寺に向かい、毎日のお勤めや重要な儀式が行われる法堂で僧侶と合流する。慈悲の
仏様、観音菩薩像を祀る祭壇の前でお香を供え、僧侶たちとお経を唱和した後、ガイドに従って寺
院巡りをする。この行事に直接参加を希望しない人も、傍観者としての参拝も歓迎される。